

事務事業評価シート(平成21年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名		担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名			
03209	ごみ・資源物収集事業		住民税務課	生活環境係	松井 夕起子	岡田 圭助			
	一次評価年月日	平成 22 年 6 月 29 日	連絡先(内線)		2112				
事務事業実施の根拠・位置づけ	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)					
	☒	一般	☐	特別	0461	塵芥処理事業			
	☐	一般	☒	特別		#N/A			
	章		(コード選択)	1章	美しく豊かな自然環境				
	節		(コード選択)	4節	地球環境を守る				
	項[基本施策]		(コード選択)	141	循環型社会の構築				
主な取り組み		(コード選択)	1413	可燃物・不燃物収集					
関連する計画等への位置づけ		☒	第四次行財政改革大綱	☐	3ヶ年実施計画	☐	主要業務報告	☐	その他
事務期間		(開始)	年度 ~ (終了予定)	年度	☒	開始時期不明	☒	終期設定なし	

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

町民(ごみ排出者)

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため。ごみ及び資源物の計画収集の削減。処理施設に関する施設への負担金の軽減。

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- ごみ収集のきまり及び収集指定日等を設け、「ごみの計画収集」を実施。
- ごみを排出する際の「排出負担」(ごみ処理有料化)を実施。
- ごみ処理施設で生じる廃棄物の処理費を町が負担。
- 資源物の処理費用の一部を町が負担。

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		20年度	21年度	22年度(見込み)		22年度	年度(見込み)	
①	指標名	資源物(古紙・古布・生ごみ・資源プラスチック・アルミ等)の年間計画収集日数	日	360	360	360		360
	説明	町内を8ブロックに分け収集(生ごみ収集についてはモデル地区のみ収集)	目標値設定の根拠	ごみ・資源物の収集日程に基づく。				
②	指標名	可燃ごみ・不燃ごみ(不燃物・粗大ごみ)の年間計画収集日数	日	280	280	280		280
	説明	可燃ごみ:各地区週2回、不燃ごみ:月1回	目標値設定の根拠	ごみ・資源物の収集日程に基づく。				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		20年度	21年度	22年度(見込み)		22年度	年度(見込み)	
①	指標名	資源物(古紙・古布・生ごみ・資源プラスチック・アルミ等)の計画収集量	トン	1,524	1,456	1,456		1,456
	説明	資源物(古紙・古布・生ごみ・資源プラスチック・アルミ等)の収集量	目標値設定の根拠	計画値は辰野町ごみ減量化行動計画に基づく				
②	指標名	可燃ごみ・不燃ごみ(不燃物・粗大ごみ)の年間計画収集量	トン	3,169	3,082	3,075		3,075
	説明	可燃物・不燃物の収集量	目標値設定の根拠	計画値は辰野町ごみ減量化行動計画に基づく				

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法		☒	決算書・予算書等に記載の数字	☐	按分計算による算定					
○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	平成20年度決算	平成21年度決算	平成22年度見込み	平成23年度見込み				
			49,996	54,225	55,358	55,358				
対前年比		%		108.5	102.1	100				
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)										
B) 一般財源(税金)										
		(千円)	49,996	54,225	55,358	55,358				
①事業費		(千円)	45,638	48,714	49,820	49,820				
対前年比		%		106.7	102.3	100				
②人件費の概算		(千円)	4,358	5,511	5,538	5,538				
対前年比		%		126.5	100.5	100				
	課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費	
	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H20 H21 H22 H23					
町職員(正規職員)	0.04 0.04 0.04	0.02 0.02 0.02	0.25 0.25 0.25	0.45 0.45 0.45	0.59 0.76 0.76	0.76	4,358	5,511	5,538	5,538
臨時職員	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート						0	0	0	0

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある C 今後可能性はない リサイクル業者へ公共施設の厨芥ごみ処分を委託。衛生自治連合会や消費者の会と連携し、各種類のごみの分別を周知させ、処理コストの軽減を図る。
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	C	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり 収集量等の実績データの確認等をおこないながら、計画収集の日数等の見直しを検討する。 可燃ごみの厨芥ごみの水分を減らしたうえで排出させることにより、消却施設の負担軽減を図る。また厨芥ごみを堆肥化させることにより、可燃ごみの排出減量化を図る。
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	C	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり ごみ・資源物の収集回数等の見直しは、住民の理解が必要。
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している C 把握していない 衛生自治連合会や住民をとらして把握。

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみを一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

家庭排出の厨芥ごみを堆肥化するため、リサイクル業者に処分委託。堆肥化を促進し、焼却ごみの減量化を図る。ごみ・資源物の適正な分別等の普及促進を広報等を通じておこなう。建設予定の新中間ごみ処理施設等の動向をみながら、将来的に収集日数(回数)の見直しをおこない、収集委託費の削減を図りたい。

22年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

ごみ、資源物の分別および減量に対する積極的な取り組みが必要。出前講座は好評であり、繰り返し実施し効果を図る。

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止



b 上記 a~e を選択